

平成 1 2 年度事業報告書

平成 1 2 年度収支決算書

自 平成 1 2 年 4 月 1 日

至 平成 1 3 年 3 月 3 1 日

特定非営利活動法人 ロボカップ日本委員会

# ．平成 1 2 年度事業報告書

平成 1 2 年度については、関係者の協力により、本法人の事業目的を達成するために、ジャパンオープンの開催や各種の受託事業を実施した。

また、ロボカップ活動の普及を図るため、Webサイトの開設等の広報活動や会員の募集等の基盤整備を図った。

## 1．特定非営利活動に係る事業

### (1) 一般会計事業

#### ロボカップ・ジュニア製作教室の開催

平成 1 2 年 6 月 2 3 ~ 2 5 日に公立はこだて未来大学において開催されたジャパンオープンの会場内で、ロボカップ・ジュニアの製作教室を開催した。

#### I R O S への参加

平成 1 2 年 1 0 月 3 0 日 ~ 1 1 月 4 日に、香川大学で行われた I R O S 2000 ( I E E E / R S J International Conference on Intelligent Robots and Systems ) において、中型ロボットリーグの U T T O R I United と大阪大学 Trackies が参加してエキジビションマッチ行うとともに、ロボカップ・レスキューに関するデモンストレーションを行った。

#### 秋季キャンプの開催

平成 1 2 年 1 0 月 2 1 日、豊田工業高等専門学校でシミュレーションリーグの初心者向けの講習会と中級者向けの練習試合を並列に行った。

今回、はじめて大学以外に会場の豊田高専及び富山商船高専から参加者があり、講習会には 2 1 名、練習試合には 1 1 チームの参加者があった。

なお、講習会は、豊田工業高等専門学校産学官連携委員会との共催の形で行われた。

#### 春季キャンプの開催

当初、平成 1 3 年 2 ~ 3 月の開催を予定していたが、平成 1 3 年度のジャパンオープンと日程が近く、開催効果が期待できないことから中止した。

#### RoboCup Jr. 岐阜 Workshopの開催

7月28～30日に、岐阜県岐阜市未来会館で開催された「こども未来博」において、小学生とその父兄を対象としたロボット組み立て教室を実施した。

製作教室では、レゴマインドストームとEKジャパンのサッカーロボを使用し、一般公募によって集まった延べ100名がロボットの製作と簡単な競技に参加した。

#### ロボチャレンジフォーラムの開催

平成13年1月27日に福岡工業大学において第4回ロボチャレンジフォーラムを開催し、約30名の参加者を得て、各地のロボカップ・ジュニア活動の報告と相互交流を行った。

また、11月11～12日に名古屋市科学館、11月25日に福岡工業大学12月23～24日に杉並区科学教育センターでロボカップ・ジュニア大会を開催した。

#### ロボカップ・レスキューの調査研究

ロボカップレスキューに関連する要素技術を調査するとともに、シミュレータプロトタイプを開発した。

また、消防研究所、情報処理学会、ICRA2000、SPIE、GDINアンカラ、ROBOMECH2000、SCI2000、リアルタイム地震防災シンポ、神戸市長田区防災訓練、ロボカップジャパンオープン、ICMAS2000、神戸大学公開講座、SICE2000、福岡市役所、神戸市役所、滋賀県、ロボカップ第4回世界大会、PRICAI、SIキックオフシンポジウム、阪神淡路5周年震災企画シンポ、GDINハワイ、ロボカップ秋季キャンプ、IECON2000、IROS2000、レスキューコンテストシンポ、SI2000にてデモンストレーションや説明会を行った。さらに、共立出版から「ロボカップレスキュー：緊急災害救助への挑戦」を出版した。

#### ヒューマノイド・チャレンジの調査研究

2050年までに完全自律型ヒューマノイド・ロボットのチームで、人間のワールドカップのチャンピオン・チームに勝利するというロボカップの最終目標に向けて、ヒューマノイド型ロボットの設計、制御に関する技術動向の調査を行った。

また、6月のジャパンオープン時に開催された(社)人工知能学会のSIG-Challenge研究会において、現在の技術動向並びに今後の課題について報告した。

#### Simulation on the Webシステムの開発

横浜市のインパク用システムとして、インターネットを介してシミュレーションリーグの試合を行えるシステムを開発した。

このシステムは、Webをインターフェースとし、参加者は、Web上で自分のチームの各種パラメータを設定し、他の参加者と試合を行うものであり、その試合状況を専用の3次元表示システムにより観戦することができるようになっている。

#### 動的分散情報解析システムの調査研究

電子技術総合研究所、公立はこだて未来大学、岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー及びマルチジェン・ジャパン(株)と共同して、分散シミュレーションカーネル及びシミュレーション結果の動的解析・視覚化・配信システムの調査及びプロトタイプ的设计・実装を情報処理振興事業協会からの請負事業として実施した。

分散シミュレーションは、これまでコストの関係から手が付けられなかった現象の解明につながる重要な技術である。特に人の認識や行動をモデルに取り込む必要のある複雑な現象、例えば経済や交通流、災害時の避難民の行動などは、多くの側面が絡んでおり、複数の分野の研究者、技術者の協力の下、システムを作る必要がある。本プロジェクトで作成したソフトウェアは、このようなシステムを容易に構築するための良質のプラットフォームを提供するものであり、広範囲の応用につながると考えられる。

また、複雑な現象においては、その視覚化は欠かせない要素である。複雑な現象をいかに効果的にわかりやすく人に提示するかは、上記の複雑系の研究的側面に加え、多くの人に効果的に情報を提示する方法論にも通じてくる。本プロジェクトで作成したソフトウェアは、情報の提示方法、配信方法及びその基本ソフトを提供することができ、これにより、実際の災害時や経済システムの安定化のための情報システム、あるいはゲームなどの娯楽システムなど広範囲のソフトウェアに応用されるものと考えられる。

#### Webサイトの運営

本法人の活動を紹介するホームページを7月1日に開設し、ロボカップ活動の普及啓発を図った。

#### パンフレットの作成

残念ながら、平成12年度においては、本法人の活動を紹介するパンフレットの作成について、進捗はなかった。

## (2) 競技会特別会計事業

### ジャパンオープンの開催

平成12年6月23～25日に公立はこだて未来大学において、日本経済新聞社、(社)日本ロボット学会及び(社)人工知能学会と共同でジャパンオープンを開催し、120名の研究者と2000名の観戦者の参加を得て、小型ロボットリーグ、中型ロボットリーグ、シミュレーションリーグの競技会を行った。

また、四脚ロボットリーグのエキジビションマッチ及びロボカップ・レスキューのプロトタイプの実演をロボカップ国際連盟と共同で行った。

さらに、同時開催する(社)人工知能学会のSIG-Challenge研究会において、ロボカップに関連する講演を行った。

## 2. 収益事業

平成12年度は、収益事業を行わなかった。

## 3. 庶務事項

### (1) 平成12年度第1回理事会

日時：平成12年6月23日(金曜日) 16:30～17:15

場所：北海道函館市亀田中野町116番2

公立はこだて未来大学 5階会議室

出席者：理事11名うち表決委任状を提出した者1名

監事2名うち表決委任状を提出した者1名

### 審議事項

議長の選出

平成11年度事業報告及び収支決算

平成12年度事業計画及び収支予算

2002年世界大会の開催候補地の推薦

監事の交代

議事録署名人の選任

その他

(2) 平成12年度通常総会

日 時 : 平成12年6月23日(金曜日) 17:15 ~ 18:00

場 所 : 北海道函館市亀田中野町116番2

公立はこだて未来大学 5階会議室

出席者 : 19名うち表決委任状を提出した者4名

(欠席者5名)

審議事項

議長の選出

平成11年度事業報告及び収支決算

平成12年度事業計画及び収支予算

2002年世界大会の開催候補地の推薦

監事の交代

議事録署名人の選任

その他

(3) 役員の変更等届出書

平成13年2月1日に東京都知事に対して、6月23日付けで、内藤理が監事を辞任し、補欠として小泉明義が監事に就任した旨の届出を行った。

(4) 平成12年度末の会員数(平成12年度年会費納入者)

正 会 員 : 35名(敬称略、平成11年度末は16名)

秋田純一、浅田稔、浅間一、五十嵐治一、石川恭輔、石黒周、  
石丸典生、今津陽子、大橋健、大橋正昭、奥乃博、門脇眞示、  
北野宏明、佐々木元也、嶋田晋、神成淳司、鈴木昭二、鈴木秀智、  
高橋友一、田所諭、津坂富浩、鳥居央、内藤理、中川友紀子、  
中村恭之、西晴樹、野田五十樹、ホマ マサキ、前田陽一郎、升谷保博、  
松原仁、村上哲、森康夫、盛田明彦、矢澤洋一

研究会員 : 0名(平成11年度末は0名)

学生会員 : 2名(平成11年度末は0名)

桐山星河、タヤマ トモキ

# 平成 1 2 年度収支決算書

## 1 . 平成 1 2 年度特定非営利活動に係る事業会計収支決算書

(平成 1 2 年 4 月 1 日から平成 1 3 年 3 月 3 1 日まで)

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

(単 位 : 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
・ 収入の部			
1 . 会費・入会金収入	(773,000)	(139,000)	(634,000)
正会員入会金	60,000	40,000	20,000
正会員年会費	93,000	97,000	4,000
学生会員入会金	20,000	2,000	18,000
研究会員年会費	600,000	0	600,000
2 . 事業収入	(2,600,000)	(3,220,180)	( 620,180)
キャンプ参加料	100,000	58,800	41,200
自治体協賛金	2,400,000	3,061,380	661,380
団体協賛金	100,000	100,000	0
3 . 法人税法施行令第 5 条対象(P)	(12,125,000)	(11,999,990)	(125,010)
監修料	125,000	0	125,000
研究開発請負料	12,000,000	11,999,990	10
4 . 雑収入	( 0)	(320,394)	( 320,394)
普通預金利息収入	0	710	710
寄附金等	0	319,684	319,684
当期収入合計(A)	15,498,000	15,679,564	181,564
前期繰越収支差額	241,956	241,956	0
未払い法人税等の減額益	0	3,701	3,701
収 入 合 計(B)	15,739,956	15,925,221	185,265

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
. 支出の部			
1. 一般会計事業費	(3,500,000)	(2,254,719)	(1,245,281)
学術会議開催事業費	100,000	0	100,000
教育セミナー開催事業費	2,900,000	2,192,719	707,281
調査研究事業費	100,000	0	100,000
普及・啓発事業費	400,000	62,000	338,000
2. 競技会事業費	(100,000)	(100,000)	(0)
表彰経費	100,000	21,420	78,580
パネル作成費	0	78,580	78,580
3. 法人税法施行令第5条対象 (Q)	(10,000,000)	(12,095,753)	2,095,753
研究開発事業費	10,000,000	12,095,753	2,095,753
4. 管理費 (R)	(834,000)	(520,141)	(313,859)
会議費	300,000	0	300,000
通信費	60,000	31,953	28,047
会員証発行費	14,000	9,376	4,624
旅費	300,000	201,880	98,120
消耗品費	100,000	53,696	46,304
事務指導費	0	165,000	165,000
支払手数料	0	17,791	17,791
雑費	60,000	40,445	19,555
うち			
法人税法施行令第5条対象			
事業への配賦額 (R×P/A=S)	(652,000)	(398,078)	(253,922)
5. 公租公課	(542,000)	(84,900)	(457,100)
法人税 (P - Q - S) × 22% = T	324,000	0	324,000
法人住民税 (均等割)	70,000	70,000	0
" (法人税割) T × 17.3%	74,000	0	74,000
法人事業税 (P - Q - S) × 5%	74,000	0	74,000
印紙代等	0	14,900	14,900
6. 予備費	763,956	0	763,956
当期支出合計 (C)	15,739,956	15,055,513	684,443
当期収支差額 (A) - (C)	241,956	624,051	866,007
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	869,708	869,708



(1) 平成12年度一般会計収支予算書

- - 特定非営利活動に係る事業会計のうち - -

(平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
・ 収入の部			
1. 会費・入会金収入	(773,000)	(139,000)	(634,000)
正会員入会金	60,000	40,000	20,000
正会員年会費	93,000	97,000	4,000
学生会員入会金	20,000	2,000	18,000
研究会員年会費	600,000	0	600,000
2. 事業収入	(2,500,000)	(3,120,180)	( 620,180)
キャンプ参加料	100,000	58,800	41,200
自治体協賛金	2,400,000	3,061,380	661,380
3. 法人税法施行令第5条対象(P)	(12,125,000)	(11,999,990)	(125,010)
監修料	125,000	0	125,000
研究開発請負料	12,000,000	11,999,990	10
4. 雑収入	( 0)	(320,394)	( 320,394)
普通預金利息収入	0	710	710
寄附金等	0	319,684	319,684
当期収入合計(A)	15,398,000	15,579,564	181,564
前期繰越収支差額	241,956	241,956	0
未払い法人税等の減額益	0	3,701	3,701
収入合計(B)	15,639,956	15,825,221	185,265

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
. 支出の部			
1 . 一般会計事業費	(3,500,000)	(2,254,719)	(1,245,281)
学術会議開催事業費	100,000	0	100,000
教育セミナー開催事業費	2,900,000	2,192,719	707,281
調査研究事業費	100,000	0	100,000
普及・啓発事業費	400,000	62,000	338,000
2 . 法人税法施行令第5条対象 (Q)	(10,000,000)	(12,095,753)	2,095,753
研究開発事業費	10,000,000	12,095,753	2,095,753
3 . 管理費 (R)	(834,000)	(520,141)	(313,859)
会議費	300,000	0	300,000
通信費	60,000	31,953	28,047
会員証発行費	14,000	9,376	4,624
旅費	300,000	201,880	98,120
消耗品費	100,000	53,696	46,304
事務指導費	0	165,000	165,000
支払手数料	0	17,791	17,791
雑費	60,000	40,445	19,555
うち			
法人税法施行令第5条対象			
事業への配賦額 $(R \times P / A = S)$	(652,000)	(398,078)	(253,922)
4 . 公租公課	(542,000)	(84,900)	(457,100)
法人税 $(P - Q - S) \times 22\% = T$	324,000	0	324,000
法人住民税 (均等割)	70,000	70,000	0
" (法人税割) $T \times 17.3\%$	74,000	0	74,000
法人事業税 $(P - Q - S) \times 5\%$	74,000	0	74,000
印紙代等	0	14,900	14,900
5 . 予備費	763,956	0	763,956
当期支出合計 (C)	15,639,956	14,955,513	684,443
当期収支差額 (A) - (C)	241,956	624,051	866,007
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	869,708	869,708

(2) 平成12年度競技会特別会計収支予算書

- - 特定非営利活動に係る事業会計のうち - -

(平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
. 収入の部			
1. 事業収入			
団体協賛金	100,000	100,000	0
当期収入合計(A)	100,000	100,000	0
前期繰越収支差額	0	0	0
収入合計(B)	100,000	100,000	0
. 支出の部			
1. 競技会事業費	(100,000)	(100,000)	(0)
表彰経費	100,000	21,420	78,580
パネル作成費	0	78,580	78,580
当期支出合計(C)	100,000	100,000	0
当期収支差額(A) - (C)	0	0	0
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0

## 2 . 平成 1 2 年度収益事業会計収支予算書

(平成 1 2 年 4 月 1 日から平成 1 3 年 3 月 3 1 日まで)

特定非営利活動法人ボカップ日本委員会

(単 位 : 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
. 収入の部			
1 . 事業収入	0	0	0
当期収入合計(A)	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
収入合計(B)	0	0	0
. 支出の部			
1 . 事業費	0	0	0
当期支出合計(C)	0	0	0
当期収支差額(A) - (C)	0	0	0
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	0	0

### 3. 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

(平成13年3月31日現在)

特定非営利活動法人人口ボカップ日本委員会

(単位：円)

科 目	金 額		
. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現 金	1,375		
普通預金	2,161,198		
流動資産合計		2,162,573	
2. 固定資産		0	
資 産 合 計			2,162,573
. 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金(石黒、野田、松原)	804,450		
前受金(会費)	262,145		
預り金(源泉所得税)	96,270		
未払金(法人都民税等)	130,000		
流動負債合計		1,292,865	
2. 固定負債		0	
負 債 合 計			1,292,865
. 正味財産の部			
基本金		245,657	
当期正味財産増加額		624,051	
正味財産合計			869,708
負債及び正味財産合計			2,162,573

## (1) 一般会計貸借対照表

- - 特定非営利活動に係る事業会計のうち - -

(平成12年3月31日現在)

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

(単位：円)

科 目	金 額		
・ 資産の部			
1 . 流動資産			
現金預金			
現 金	1,375		
普通預金	2,161,198		
流動資産合計		2,162,573	
2 . 固定資産		0	
資 産 合 計			2,162,573
・ 負債の部			
1 . 流動負債			
短期借入金（石黒、野田、松原）	804,450		
前受金（会費）	262,145		
預り金（源泉所得税）	96,270		
未払金（法人住民税等）	130,000		
流動負債合計		1,292,865	
2 . 固定負債		0	
負 債 合 計			1,292,865
・ 正味財産の部			
基本金		245,657	
当期正味財産増加額		624,051	
正味財産合計			869,708
負債及び正味財産合計			2,162,573

(2) 競技会特別会計貸借対照表

- - 特定非営利活動に係る事業会計のうち - -

(平成12年3月31日現在)

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

(単位：円)

科 目	金 額	
. 資産の部		
1. 流動資産	0	
2. 固定資産	0	
資 産 合 計		0
. 負債の部		
1. 流動負債	0	
2. 固定負債	0	
負 債 合 計		0
. 正味財産の部		
正味財産		0
(うち当期正味財産増加額)		( 0)
負債及び正味財産合計		0

4 . 収益事業会計貸借対照表  
 (平成12年3月31日現在)

特定非営利活動法人人口ボカップ日本委員会  
 (単 位 : 円)

科 目	金 額	
. 資産の部		
1 . 流動資産	0	
2 . 固定資産	0	
資 産 合 計		0
. 負債の部		
1 . 流動負債	0	
2 . 固定負債	0	
負 債 合 計		0
. 正味財産の部		
正味財産		0
(うち当期正味財産増加額)		( 0)
負債及び正味財産合計		0



## 5. 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

(平成13年3月31日現在)

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

(単位：円)

科 目	金 額		
・資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現 金	1,375		
普通預金(東京三菱銀行)	2,161,198		
流動資産合計		2,162,573	
2. 固定資産		0	
資 産 合 計			2,162,573
・負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金(石黒、野田、松原)	804,450		
前受金(会費)	262,145		
預り金(源泉所得税)	96,270		
未払金(法人住民税等)	130,000		
流動負債合計		1,292,865	
2. 固定負債		0	
負 債 合 計			1,292,865
正 味 財 産			869,708

(1) 一般会計財産目録

- - 特定非営利活動に係る事業会計のうち - -

(平成13年3月31日現在)

特定非営利活動法人ポカップ日本委員会

(単位：円)

科 目	金 額		
・資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	1,375		
普通預金(東京三菱銀行)	2,161,198		
流動資産合計		2,162,573	
2. 固定資産		0	
資 産 合 計			2,162,573
・負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金(石黒、野田、松原)	804,450		
前受金(会費)	262,145		
預り金(源泉所得税)	96,270		
未払金(法人住民税等)	130,000		
流動負債合計		1,292,865	
2. 固定負債		0	
負 債 合 計			1,292,865
正 味 財 産			869,708

(2) 競技会特別会計財産目録

- - 特定非営利活動に係る事業会計のうち - -

(平成13年3月31日現在)

特定非営利活動法人人口ボカップ日本委員会

(単位：円)

科 目	金 額		
. 資産の部			
1. 流動資産		0	
2. 固定資産		0	
資 産 合 計			0
. 負債の部			
1. 流動負債		0	
2. 固定負債		0	
負 債 合 計			0
正 味 財 産			0

6 . 収益事業会計財産目録

(平成13年3月31日現在)

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

(単 位 : 円)

科 目	金 額	
. 資産の部		
1 . 流動資産	0	
2 . 固定資産	0	
資 産 合 計		0
. 負債の部		
1 . 流動負債	0	
2 . 固定負債	0	
負 債 合 計		0
正 味 財 産		0

( 計算書類に対する注記 )

会費については、未収金の計上を行わない。

特定非営利活動に係る事業であっても、法人税法施行令第 5 条第 1 項に規定される収益事業 ( 3 3 業種 ) に当たるものについては、その所得に対する法人税、法人住民税 ( 法人税割 ) 及び法人事業税を納税する。

上記の場合、管理費については、特定非営利活動に係る事業の当期収入額に占める課税対象事業の収入額の割合で、課税対象事業の経費に配賦する。

## ．平成 1 2 年度監査報告書

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会の平成 1 2 年度事業報告書ならびに平成 1 2 年度収支決算書の各項目について監査した結果、いずれも適正かつ正確であることを確認いたしました。

平成 1 3 年 4 月 1 8 日

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

監 事 小 泉 明 義 ⑩

監 事 矢 澤 洋 一 ⑩